

# 駒澤大学 vs 朝鮮大学校

9月4日(水)  
11:30K.O.  
江戸陸

首位の東国大を追って2位につけている駒大。1年での1部復帰が断られた昨季の悔しさを晴らすべく、1試合1試合粘り強い戦いを見せている。東国大との直接対決で敗れたのが痛かったが、なんとか勝点4差で食いついている状況だ。

首位が無敗の戦いを続けている以上、駒大も後半戦初戦を大事に戦っていきたいところ。前半戦終盤で調子を上げてきた朝鮮大という嫌な相手だが、しっかりと得点ランク1・2位のFW山本大貴(4年)・FW小牟田洋佑(3年)にボールを供給していきたい。前半戦終了後、秋田浩一監督は「まだまだ精度が低い。上手なチームではないので、もっときっちりパスを回さなければいけない」と課題を挙げた。攻撃面で鍵を握るのはMF碓井鉄平(4年)。DF田中雄一(4年)の攻撃参加にも注目したい。

昨季の4年生が抜け、ほとんどが新しい顔ぶれとなった今季の朝鮮大。苦戦が予想されたが、7位というのは健闘とも言える成績かもしれない。しかし、前半戦終盤から調子を上げ、1~2年生でスタメンに定着してくる選手が増えてきて、徐々に朝鮮大らしいチームが出来上がりがつつある。相手の攻撃を受けてしまって、DFラインが下がってしまう悪いときのパターンが少なくなっ

いるだけに、さらに攻撃へのつながりを良くしたい。前半戦最終節は法大に1-0の勝利。金鍾成総監督は「運良く勝てた。五分五分だったが、最後まで走れたことが勝ちにつながった」と評価した。注目選手はMF朴利基(3年)。縦横無尽な動きで、パスからシュートまで得点に絡む働きを見せるだろう。

<出場停止>なし / 3回警告：慎鏞紀(朝鮮大)  
<昨年の対戦>前期 / 駒大4-0朝鮮大、後期 / 駒大2-4朝鮮大

駒大		朝鮮大	
3. 田中	27. キム	24. 鄭壯輝	12. 姜光
5. 伊藤	6. 若山	16. 韓勇俊	22. 慎鏞紀
9. 小牟田	10. 山本	21. 康貴成	1. 李在根
7. 碓井		6. 任良太	
4. 平尾		14. 朴利基	3. 李教俊
	11. 小牧	9. 高尚人	2. 李永照
13. 大木			

# 拓殖大学 vs 東海大学

9月4日(水)  
11:30K.O.  
荻野

前半戦を8位で終えた拓大。開幕戦白星で幸先の良いスタートを切ったかと思われたが、その後6連敗というドロ沼にはまってしまった。第8節でようやく連敗を抜け出したものの、前半戦最終節となった第9節では青学大に敗れ、玉井朗監督は「一人ひとりが相手に対して戦っていない。ファーストディフェンダーの反応が悪い」とおかんむり。8位とはいえ降格圏との勝点差もほとんどないだけに、後半戦に向けてどれだけチームの組織力を高め、意思統一を図れてきたかが鍵を握る。

拓大といえば、伝統的に攻撃力が魅力。今季の攻撃陣も、FW内野裕太(4年)、FW河野直登(3年)、FW西岡梧郎(3年)とシュート力を持った顔ぶれが並ぶ。守備の課題を克服し、攻撃力を生かせる展開に持ち込めれば、後半戦での反撃も可能だろう。

最下位の東海大。関東大学サッカー連盟から、前半戦3試合を辞退したペナルティとして勝点6が没収されることになった。残念なことではあるが、この厳しい状況にどれだけ立ち向かっていけるか。

前半戦は3連敗という苦しいスタートで、攻撃的なチームを目指した戦術がなかなか結果に結びつかず、試行錯誤が続いた。後半戦に向け、心配なのは5~6月の公

式戦を辞退し、7月から1リーグには参加していたものの、神奈川県の実業リーグを1試合戦っただけという、公式戦から離れていたことの影響だ。後半戦から監督も変わったが、コーチも務めていた後藤太郎監督だけに、チームが大きく変わることはないだろう。しかし心機一転、どん底の位置からではあるが、巻き返しを狙いたい。

<出場停止>なし / 3回警告：内野裕太(拓大)  
<昨年の対戦>前期 / 拓大1-3東海大、後期 / 拓大0-3東海大

拓大		東海大	
26. 小針	9. 西岡	26. 小野	8. 梶原
5. 菊野	23. 河野	5. 元田	15. 和田
8. 吉田		25. 溝口	29. 内山
1. 大坪		12. 佐藤	19. 永吉
20. 片		19. 永吉	24. 羽毛
3. 丸山	11. 内野	16. 寺尾	
	15. 唐澤	17. 西村	
27. 谷川			

\*予想布陣はリーグ戦プログラムを参考に作成しています\*

# JR 東日本カップ 2013 第 87 回関東大学サッカーリーグ戦

**if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM**  
Division2 2013-NO.10

編集：五味亜矢子 発行：関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ



## 後半戦開幕！流れは変わるのか!?

いよいよ JR 東日本カップ 2013 第 87 回関東大学サッカーリーグ戦 2部リーグの後半戦が開幕する。イレギュラーな日程となった今季は、後半戦に例年より2節多い13節分が組まれているため、長丁場となる後半戦をどう戦っていくのかがポイントとなる。前半戦は、関東リーグ初参戦となった東国大の快進撃が目立った。前半戦最終節で平国大に連勝を止められたものの、没収試合を含む開幕8連勝で昇格争いを一歩リードしている。それを追うのが駒大で、2部降格2年目の今季に賭ける想いは強い。そして関学大、青学大、東学大、東農大が僅差で続いている。下位グループは、朝鮮大以下それほど差がないが、昨季1部リーグから降格してきた神大の不振が気になる。

前半戦終了後、東国大と法大が総理大臣杯に、東国大は天皇杯にも

得点ランキング		アシストランキング	
8: 山本 大貴 (駒大)	4: 田中 雄一 (駒大)	5: 佐伯 拓磨 (東国大)	4: 田中 雄一 (駒大)
7: 小牟田洋佑 (駒大)	3: 高橋 明嗣 (東国大)	3: 高橋 明嗣 (東国大)	3: 碓井 鉄平 (駒大)
5: 伊東 純也 (神大)	碓井 鉄平 (駒大)	碓井 鉄平 (駒大)	碓井 鉄平 (駒大)
4: 計7人	茶島 雄介 (東学大)	茶島 雄介 (東学大)	茶島 雄介 (東学大)
3: 計9人	今野 順 (東農大)	今野 順 (東農大)	今野 順 (東農大)
	西岡 梧郎 (拓大)	西岡 梧郎 (拓大)	西岡 梧郎 (拓大)
	長野 祐太 (神大)	長野 祐太 (神大)	長野 祐太 (神大)

出場した。どのチームも前半戦からどれだけの成長を見せてくれるのか、そしてリーグ戦の流れは変わるのか。まず、後半戦の開幕を勝利で飾るのはどのチームか!?

## JR東日本カップ2013 第 87 回関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第9節終了時)

順位	2部	東国大	駒大	関学大	青学大	東学大	東農大	朝鮮大	拓大	神大	平国大	法大	東海大	勝数	負数	分	得点	失点	得失差	勝点
1	東国大		100	401	9/4	201	9/11	201	301	100	1△1	400	300(没収)	8	0	1	21	5	16	25
2	駒大	0●1		200	401	402	302	9/4	200	401	3●4	9/11	401	7	2	0	26	12	14	21
3	関学大	1●4	0●2		0△0	400	0●3	400	9/11	9/4	300	201	300(没収)	5	3	1	17	10	7	16
4	青学大	BMWス	1●4	0△0		100	1△1	1●2	100	201	0△0	401	9/11	4	2	3	11	9	2	15
5	東学大	1●2	2●4	0●4	0●1		201	200	201	9/11	301	9/4	201	5	4	0	14	15	-1	15
6	東農大	朝鮮大G	2●3	300	1△1	1●2		1△1	200	1●3	9/4	100	300(没収)	4	3	2	15	10	5	14
7	朝鮮大	1●2	江戸陸	0●4	201	0●2	1△1		0●1	1●2	9/11	100	401	3	5	1	10	14	-4	10
8	拓大	1●3	0●2	保土ヶ谷	0●1	1●2	0●2	100		502	2●3	201	9/4	3	6	0	12	16	-4	9
9	神大	0●1	1●4	ニッパ球	1●2	三ツ沢	301	201	2●5		301	1●2	1●2	3	6	0	14	19	-5	9
10	平国大	1△1	403	0●3	0△0	1●3	古河	朝鮮大G	302	1●3		1△1	2●3	2	4	3	13	19	-6	9
11	法大	0●4	荻野	1●2	1●4	古河	0●1	0●1	1●2	201	1△1		402	2	6	1	10	18	-8	7
12	東海大	0●3(没収)	1●4	0●3(没収)	荻野	1●2	0●3(没収)	1●4	荻野	201	302	2●4		2	7	0	10	26	-16	6

※東海大は後半戦終了時点で勝点-6となります



体育会学生のための



あなたの就活を、専任アドバイザーがマンツーマンでサポート。 <http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/>

# 関東学院大学 vs 神奈川大学

9月4日(水)  
11:30K.O.  
ニッパ球

2位との勝点差はやや開いているものの、前半戦を終えて3位につけた関学大。静かに、昇格争いへの本格参戦を狙っている。しかし、今季のスタートは波の大きな試合をしてしまった。3-0、4-0という2連勝のあと、0-3、0-2という連敗。第6節ではまたも4失点を喫して敗れ、4試合白星無しとなったところで没収試合のため1週間のブランクが空いた。そこでの切り替えが効いたのか、最後は連勝で前半戦を終えた。特に第9節は東学大に4-0で勝利し、序盤の好調さが戻ってきた印象を見せ付けた。

基本的に、しっかりとした守備から前線の速さを生かした攻撃やサイドアタックが特徴。地味ながらここ2年はしっかり上位につけているだけに、上位2チームとの勝点差を縮めていきたいところだ。

対する神大は、6年ぶりの2部リーグで前半戦9位と、まさかの不振に陥っている。開幕戦を勝利し、第4節までは3勝1敗と勝ち越していたが、その後なんと5連敗。3試合連続1-2というスコアで敗れたあとは、2-5、1-4と大量失点での敗戦が続いてしまった。前半戦終了後、高峯弘樹監督は「イージーなミスでの失点を重ねたことが反省点。しっかり改善して巻き返したい」と話

した。大量失点を喫した相手は拓大、駒大と攻撃力に定評のあるチームではあったが、関学大も今季は大量得点の試合が多い。ミスからの失点はもちろんのこと、最少失点に抑えて接戦に持ち込みたい。

1年での1部復帰は非常に厳しい状況とも言えるが、前半戦以降、どれだけチームの立て直しができていくか。まずは後半戦初戦を大事に戦いたい。

<出場停止>なし / 3回警告:なし

<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

関学大		神大	
2. 吉田	9. 富樫	2. 柿崎	6. 秋山
3. 土館	10. 橋村	9. 郡司	5. 杉山
14. 佐藤		7. 長野	
1. 守山		1. 阿部	
7. 太田		8. 須郷	
4. 久保	11. 萱沼	11. 星	4. 向山
8. 山本		10. 伊東	3. 高木
6. 木村			

# 東京農業大学 vs 平成国際大学

9月4日(水)  
11:30K.O.  
古河

今季、3年ぶりに関東リーグの舞台に戻ってきた東農大。昇格組としては、前半戦を上位グループの6位で終えたことは健闘と言えるだろう。さらに上位を狙っているかどうか。

久々の関東リーグは連敗スタートとなったものの、中盤の出足の早さと最後まで走り切る運動量を武器に粘り強く勝点を積み上げてきた。しかし、第7節と第8節は1-1の引き分け、第9節は没収試合(記録上は3-0の勝利)であり、実質はここ2試合、勝利から見放されている。ここまで無得点で終わった試合はないだけに、“1点は取れる”という自信は持っているはずだが、各チームが研究を進めてくる後半戦はいかに競った試合を勝ち切ることがポイント。DF 櫻岡徹也(3年)を中心とした守備陣の踏ん張りも、鍵を握りそうだ。

対する平国大は、前半戦10位という位置につけている。8位と同勝点ではあるものの、本意ではないだろう。また、9試合で3引き分けというのが痛い。特に前半戦最終節、首位の東国大の連勝はストップさせたものの、82分に同点とされる惜しいゲームであった。3失点の試合が5試合あることも、やや気になるところだ。

西川誠太監督の采配とベンチメンバーを含む選手のパ

フォーマンスで、最後まで何を起こすかわからないチームというのが魅力。今季はFW 星子直哉(2年)が得点ランク上位に顔を出す活躍を見せているが、もう少しバリエーションを増やしたいところ。関東リーグ初挑戦となった昨季は厳しい戦いを最終節での残留決定(順位は8位)と勝ち抜いたが、リーグの常連校となるためにも今季は正念場だ。

<出場停止>なし / 3回警告:村山翔(東農大)

<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

東農大		平国大	
27. 加藤	11. 井上	13. 竹内	15. 鈴木
5. 櫻岡	10. 浜田	26. 小松崎	3. 深井
30. 矢口	14. 石川	9. 星子	30. 馬屋原
	9. 相川	19. 堀越	6. 本田
6. 中垣内		2. 須藤	
15. 小田原	18. 今野	23. 赤澤	
12. 徳田		16. 増田	

# 東京国際大学 vs 青山学院大学

9月4日(水)  
11:30K.O.  
BMW ス

前半戦の関東2部リーグの主演と言える東国大。関東リーグ初挑戦で開幕8連勝(うち1試合は没収試合)と、大きな旋風を巻き起こした。そして総理大臣杯予選(※)を勝ち上がり、さらに埼玉県では天皇杯予選を勝ち抜き県代表に。8月上旬は天皇杯予選と総理大臣杯(2回戦敗退)、そして4日前の8月31日には天皇杯本戦(栃木県代表に1-2の敗戦)を戦ったばかりと、好調な半面、疲労の蓄積度合いが心配されるくらいスケジュールとなっている。しかし、天皇杯で浦和レッズと対戦する目標が断たれただけに、リーグ戦に集中してくるだろう。

ボールを奪ってからの鋭い速攻と、攻撃陣の驚異的な決定力が武器。MF 佐伯拓磨(2年)の5アシストが光る。後半戦も東国大旋風は続くのかどうか。

対する青学大は、前半戦を終えて4位につけている。初戦勝利のあと2連敗したことで守備面の強化に力を入れ、その後は6試合負け無しを続けている。続く総理大臣杯予選(※)では“勝てば本戦出場”という試合まで勝ち残ったが東国大に1-3で敗れた。今節も東国大との対戦だが、2点差で敗れたとはいえそれほど悪い印象は持っていないようで、“一度対戦している”という気持ちが良い意味の余裕につながれば勝機はあるだろう。

前半戦は、ケガ人の多さにも苦しめられた。ただ、それを契機に出場・定着してきた複数の選手たちと、ケガから復帰してきた選手で後半戦は選手層が厚くなっている。前半戦は慎重な戦いで僅差をモノにする試合が多かったが、後半戦はより多くの得点を奪って勝つ攻撃的な青学大が見られるかどうか。

<出場停止>なし / 3回警告:加藤龍治・赤崎俊太(東国大)

<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

東国大		青学大	
6. 鹿糠	17. 小玉	2. 石原	11. 本城
5. 川島	13. 佐伯	18. 関谷	4. 中村
21. 今野	9. 福島	10. 木澤	
4. 加藤		12. 高橋	
10. 若井		6. 高山	
3. 阿部		8. 後藤	3. 早田
11. 高橋		16. 恵	20. 服部
2. 伊東			

# 東京学芸大学 vs 法政大学

9月4日(水)  
13:50K.O.  
古河

前半戦5位につけてはいるが、1年で逆戻りしてきてしまった2部リーグの戦いには、やや苦勞しているという印象である。ボール保持能力はあるだけに、パスをつなぎ攻め込むが、守備を固められたり中盤を飛ばされたりすると試合運びが非常に厳しくなってしまう。特に前半戦最後の2試合は、駒大に2-4、関学大に0-4という惨敗であった。関学大戦後、西園聡史監督は「もう一度、自分たちがサッカーをする上でやらなければならないことを徹底して、巻き返していきたい」と語った。再び1部の舞台を手にするためには、失点が多いことも大きな課題だ。自分たちよりも下位チームにはしっかり勝っているが、上位にはすべて敗れている。総当たり1回戦目の残り2試合は、下位とはいえ総理大臣杯に出場した法大と昨季1部の神大だけに、気は抜けない。

その法大も2部リーグでの戦いに苦しめられている。今季はついに最下位も経験、前半戦は2勝6敗1分の11位と、昇格争いにはほど遠い順位に沈んでいる。攻撃力はあるが、決定力に乏しいことと、個人技頼みのところが気になる。また、失点すると一気に崩れてしまうのも、なかなか勝てないチームが陥りがちな悪循環だ。前半戦最終節も朝鮮大に0-1で敗れ、大石和孝監督は

「点が取れないと勝てない。気持ちもマイナスなところばかり出ている」と、精神面の影響を指摘していた。しかし、続く総理大臣杯予選(※)では駒大戦の勝利を皮切りに快進撃。ロスタイムでの得点や延長戦勝利など、粘り強さと勝利への執念が見られただけに、後半戦にその戦いぶりが持ち込めれば怖い法大が戻ってきそうだ。

<出場停止>なし / 3回警告:田代雅也・松本大輝・西室隆規(法大)

<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

東学大		法大	
24. 吉田	14. 佐藤	17. 森保	9. 深町
4. 脇本	7. 山崎	14. 松本	2. 宗近
1. 谷口	10. 茶島	28. 西室	21. 田村
2. 大里	8. 佐々木	5. 岩淵	
5. 廣木		15. 高橋	27. 田代
		16. 松田	30. 永戸